

フェーン・異常高温緊急情報(第2号)

令和4年9月6日
新潟県農林水産部

9月5日は、胴割粒発生の危険水準を超える乾燥状態が観測されました。6日も極度に乾燥した状態となる見込みです。成熟期を迎えている「こしいぶき」では立毛胴割れの恐れがあります。

籾水分や籾黄化率を確認し、籾水分が22%未満の場合は、籾黄化率75~80%を収穫始期のめやすとし、早期に収穫してください。

〔気象状況〕

- ◎ 気象庁の予想によると、台風第11号は、9月6日4時には対馬市の西約100キロにあって、北北東へ進んでいます。対馬海峡を通過し、その後日本海を北北東に進む見込みです。
- ◎ 新潟県では、6日は南寄りの風が強く吹き、フェーン現象による異常高温となる見込みです。
- ◎ 5日は、新潟（アメダス）で極度に乾燥した状態が観測されました。6日も胴割粒発生の危険水準を超える日平均飽差*1の発生が予想されます。

*1: 飽差は空気の乾燥程度を示す指標。数字が大きいほど乾燥程度が大きいことを示す。胴割粒が増加する日平均飽差の基準は新之助6g/m³以上、コシヒカリ、こしいぶき9g/m³以上

〔当面の管理対策〕

- ◎ 籾水分が22%未満の時期に空気が極度に乾燥した状態に遭遇すると胴割粒が急増します。出穂期後積算気温900℃、籾黄化率75~80%を収穫始期のめやすとし、通常より早めに収穫してください。
- ◎ 収穫時の籾水分が低い場合は、日中の加温乾燥は避け、常温で通風乾燥を行いましょう。点火は夜間等に気温が下がってから、毎時乾燥速度が0.5%以下になるよう送風温度を低めに設定して乾燥しましょう。
- ◎ 乾燥機に2段乾燥機能や休止乾燥機能がある場合はそれを活用しましょう。

参考資料

県内アメダス観測地点(湿度を測定する7地点)における日平均日平均飽差※の実測値
(令和4年9月5日)
(g/m^3)

地点名	村上	新潟	新津	柏崎	大潟	高田	相川
実測値	4.8	<u>9.1</u>	6.6	6.6	5.0	5.7	7.9

この値は、「フェーン・異常高温緊急情報」発出の対象日となった9月5日における毎時の気温・湿度から飽差を計算し一日分を平均した実測値です。

実測値は下記ホームページにも掲載しています。

<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nouen/r4suitou.html>

※ 飽差 (g/m^3) とは

1立方メートルの空気中に、あと何グラムの水蒸気を含むことができるかを示す値のことで、空気の乾燥程度を表しています。この数値が大きいほど、空気中により多くの水分を含むことができ、渴きやすい状態であることを示します。